

令和 6 年

宮城県 海難発生状況

(速報値)

宮城海上保安部

令和 7 年 1 月

目 次

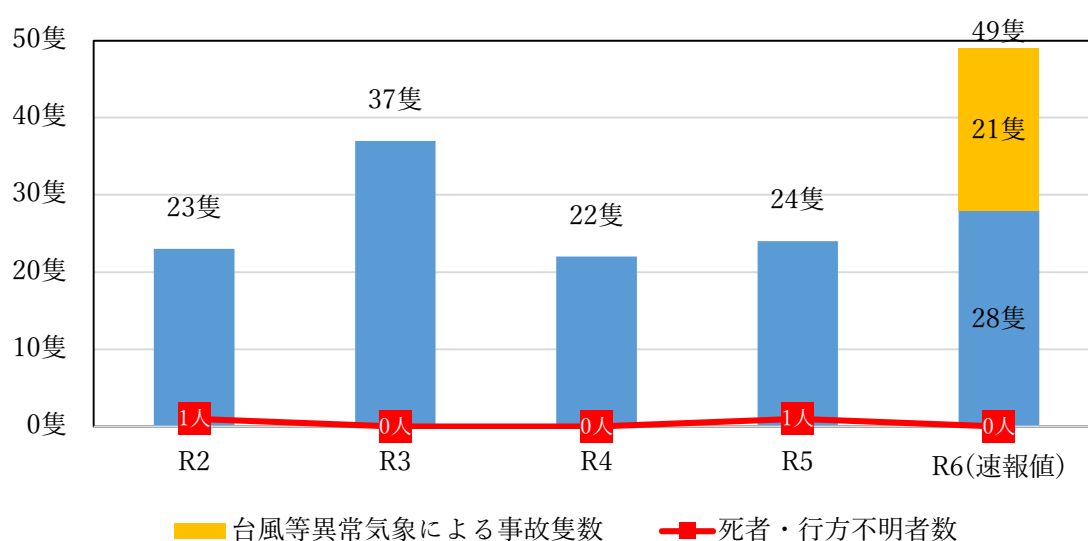
1 船舶事故の特徴	P1
(1) 船舶事故(全体)	P1
(2) 漁 船	P 3
(3) プレジャーボート	P5
① 水上オートバイ	P8
② ミニボート	P9
(4) 工事関係船(作業船・その他)	P10
 2 人身事故の特徴	 P12
(1) 人身事故(全体)	P12
(2) 船舶事故によらない人身事故	P13
① 漁 船	P15
② プレジャーボート	P19
③ 工事関係船(作業船・その他)	P21
(3) マリンレジャーに伴う海浜事故	P23
① 釣り中	P25
② 遊泳中	P27
③ 18 歳以下のマリレに伴う海浜事故	P30
(4) マリレ以外の海浜事故	P31
 3 事故発生時における救命胴衣の着用率	 P33
(1) 漁船からの海中転落者の救命胴衣着用率	P33
(2) プレジャーボートからの海中転落者の救命胴衣着用率	P33
(3) 釣り中の海中転落者の救命胴衣着用率	P33

1 船舶事故の特徴

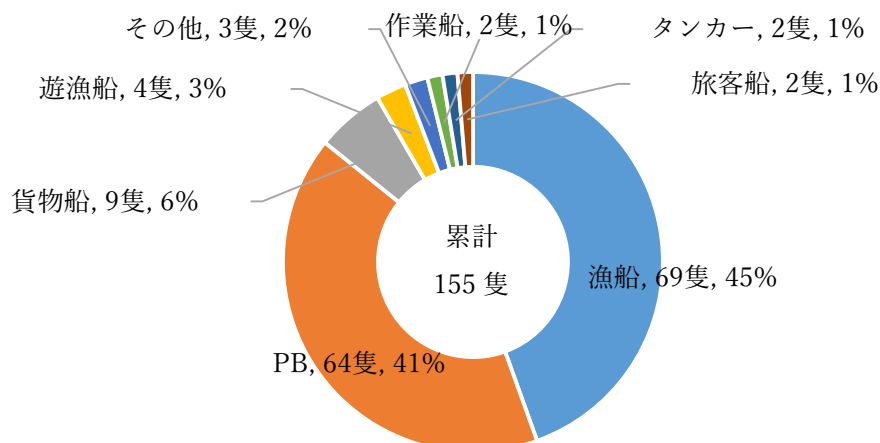
(1) 船舶事故（全体）

- ✓ 令和6年は前年に比べ大幅に増加し、49隻となった。
- ✓ うち21隻は、令和6年1月及び2月に本州南岸を通過した発達した低気圧の影響による事故であった。
- ✓ 船舶種類別にみると、漁船によるものが最も多く全体の45%（69隻／155隻）を占め、次いでプレジャーボートが41%（64隻）を占める。
（5年間累計）

〔船舶事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



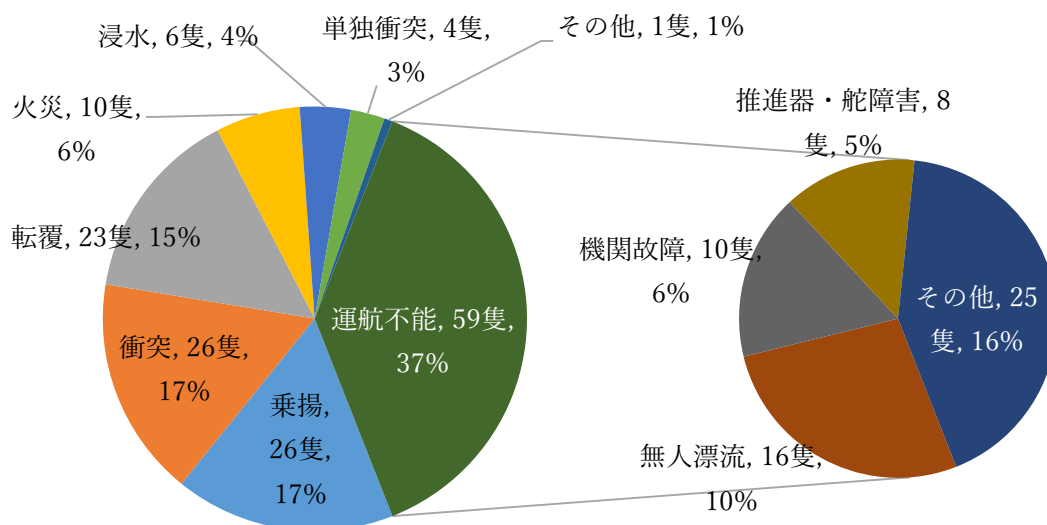
〔船舶種類別の割合（5年間累計）〕



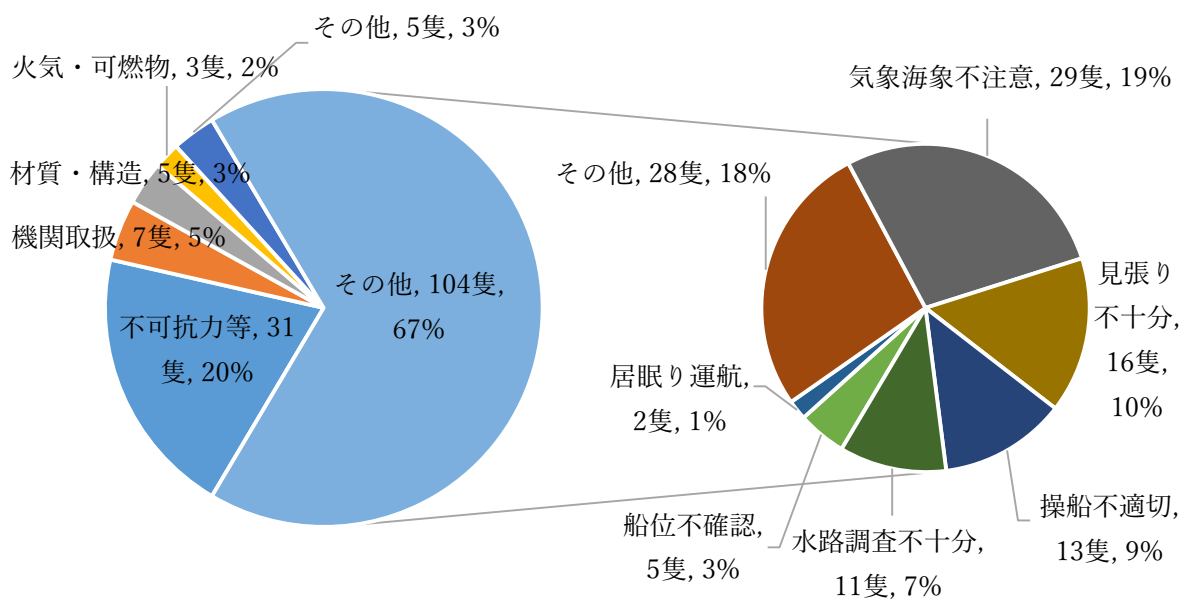
〔船舶種類別の事故発生状況の推移（５年間）〕

	R2	R3	R4	R5	R6(速報値)	計
漁船	11隻	10隻	9隻	10隻	29隻	69隻
PB	12隻	14隻	9隻	12隻	17隻	64隻
貨物船		7隻	1隻	1隻		9隻
遊漁船			2隻		2隻	4隻
その他		2隻		1隻		3隻
作業船		1隻	1隻			2隻
タンカー		2隻				2隻
旅客船		1隻			1隻	2隻
計	23隻	37隻	22隻	24隻	49隻	155隻

〔事故種類別の割合（５年間累計）〕



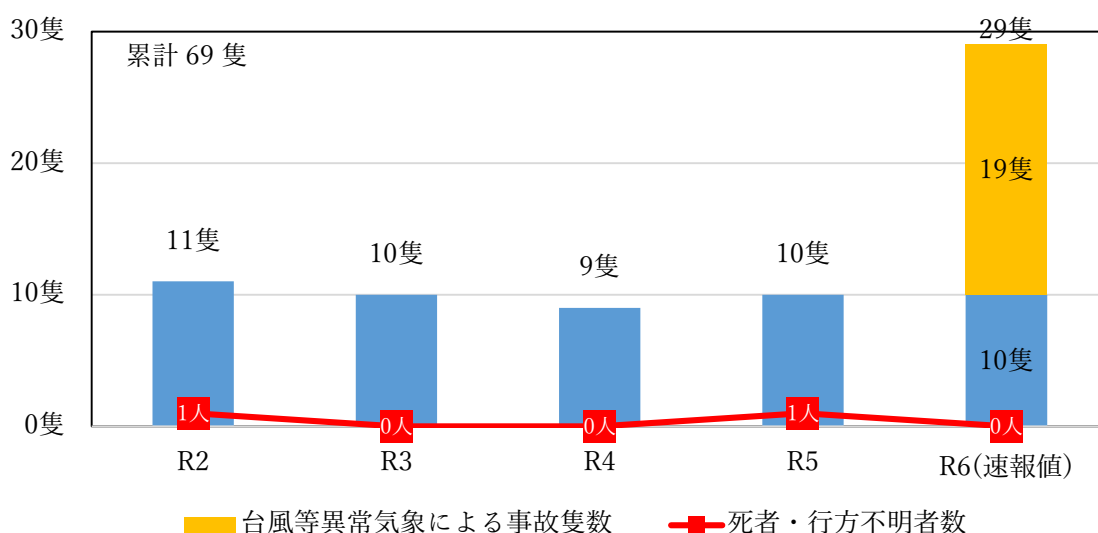
〔事故原因別の割合（５年間累計）〕



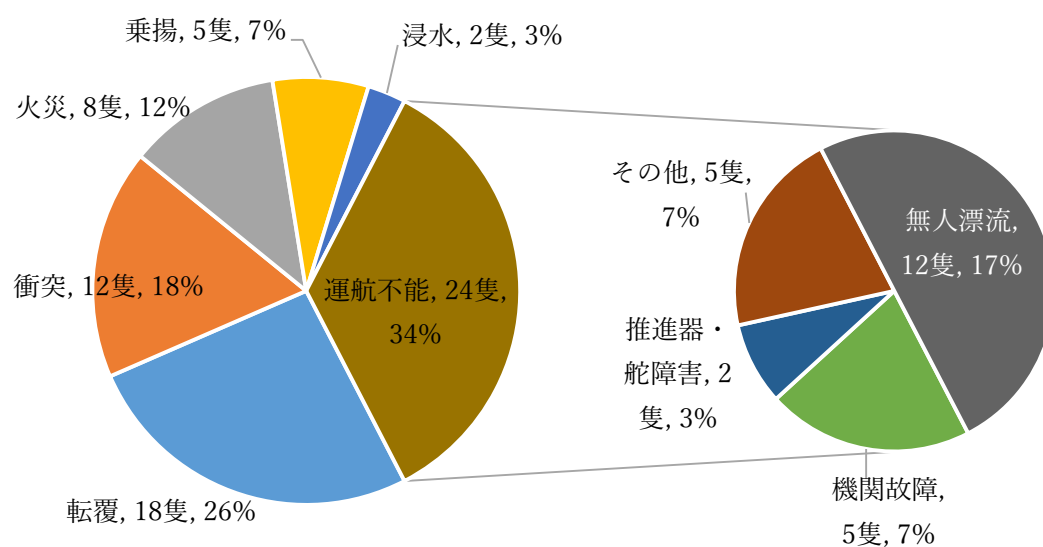
(2) 漁船

- ✓ 令和6年は前年に比べ大幅に増加し、29隻となった。
- ✓ うち19隻は、令和6年1月及び2月に本州南岸を通過した発達した低気圧の影響による事故であった。
- ✓ 事故種類別にみると、運航不能が最も多く、全体の34%（24隻／69隻）を占め、次いで転覆が26%（18隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、冬季（12月～2月）に33隻と多く発生し、特に1月に多く発生する傾向にあるが、年間を通じて発生している。（5年間累計）

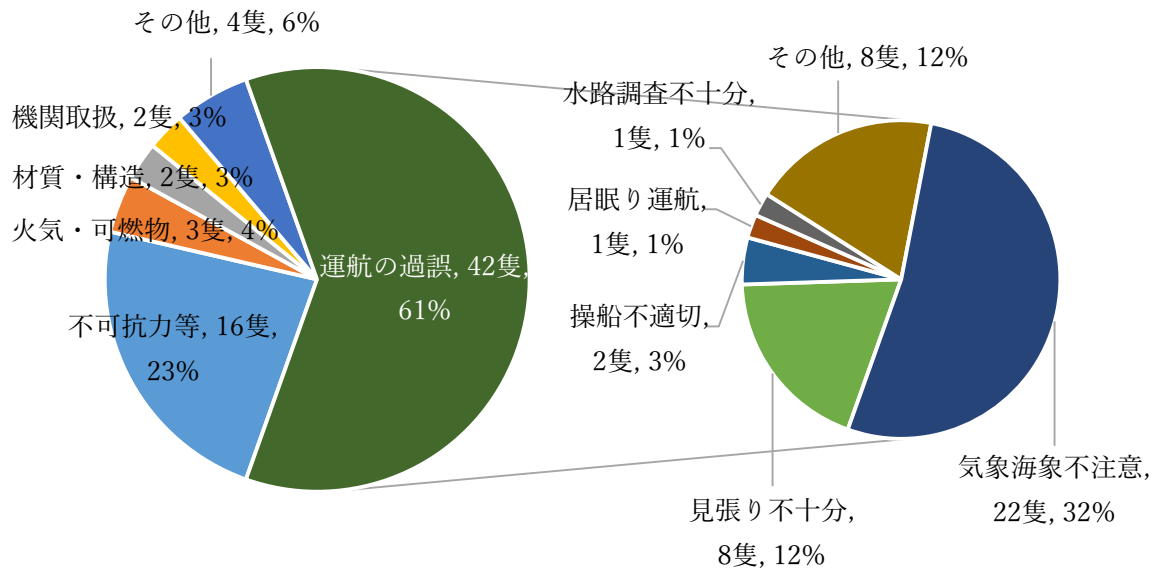
〔漁船事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔事故種類別の割合（5年間累計）〕



〔事故原因別の割合（５年間累計）〕

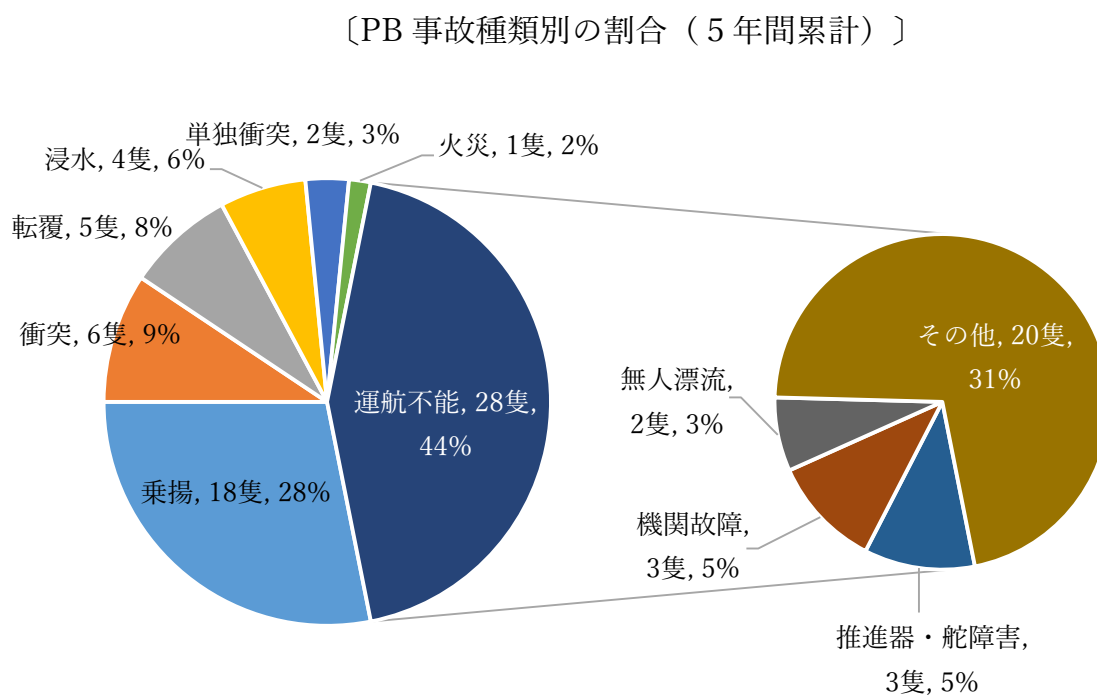
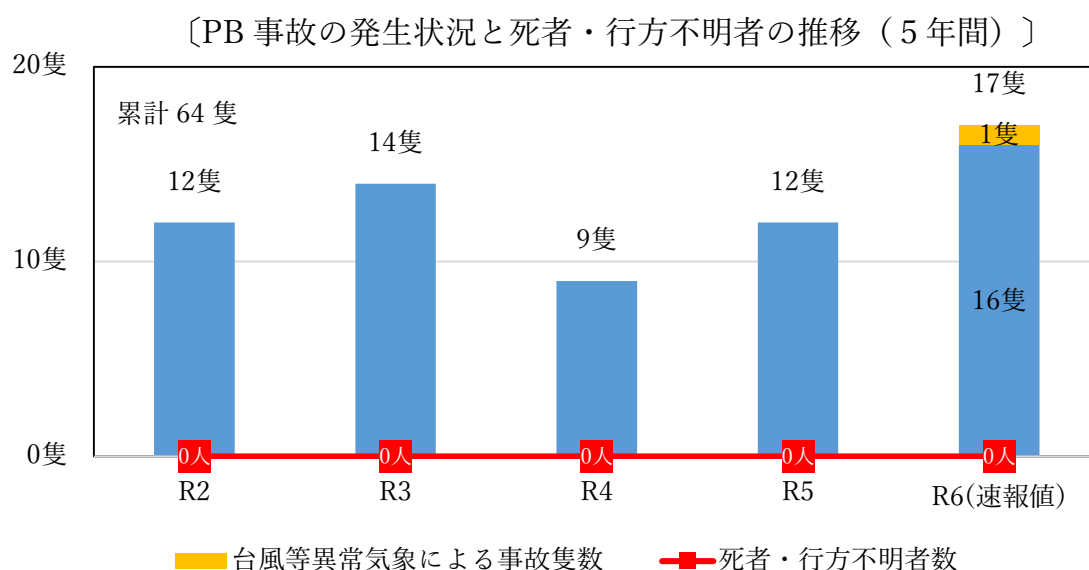


〔漁船事故の発生時期と事故の種類（５年間累計）〕

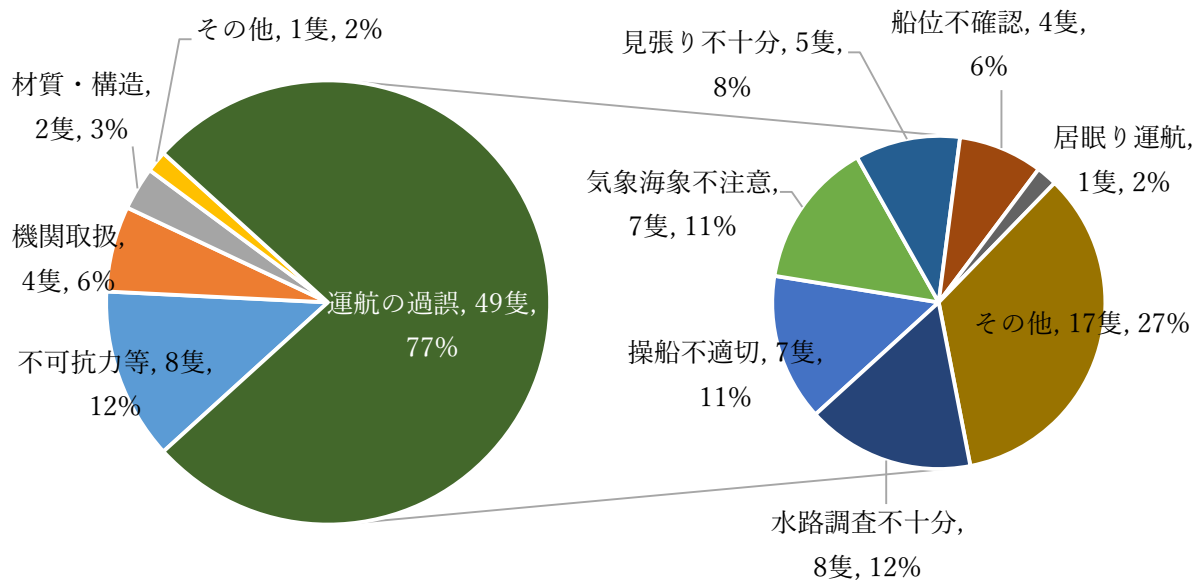
	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
運航不能	6隻	4隻	2隻	1隻	1隻	0隻	3隻	0隻	1隻	2隻	4隻	0隻	24隻
無人漂流	5隻	4隻	1隻	1隻							1隻		12隻
機関故障							2隻		1隻	1隻	1隻		5隻
推進器・舵障害							1隻			1隻			2隻
その他	1隻		1隻		1隻						2隻		5隻
転覆	6隻	5隻		2隻			1隻			2隻	1隻	1隻	18隻
衝突	5隻									1隻	4隻	2隻	12隻
火災			2隻	1隻		1隻	1隻	2隻		1隻			8隻
乗揚		1隻		1隻			1隻	1隻				1隻	5隻
浸水												2隻	2隻
計（月）	17隻	10隻	4隻	5隻	1隻	1隻	6隻	3隻	1隻	6隻	9隻	6隻	69隻
計（季節）	33隻		10隻			10隻			16隻				69隻

(3) プレジャーボート

- ✓ 令和6年は前年比5隻増の17隻と増加。
- ✓ 事故種類別にみると、運航不能が最も多く全体の44%（28隻／64隻）を占め、次いで乗揚が28%（18隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、年間を通じて発生しているが、特に夏季（6月～8月）が21隻と最も多い。（5年間累計）
- ✓ 水上オートバイの事故は、前年と同じ2隻で推移。
- ✓ ミニボートの事故は、前年と同じ1隻で推移。



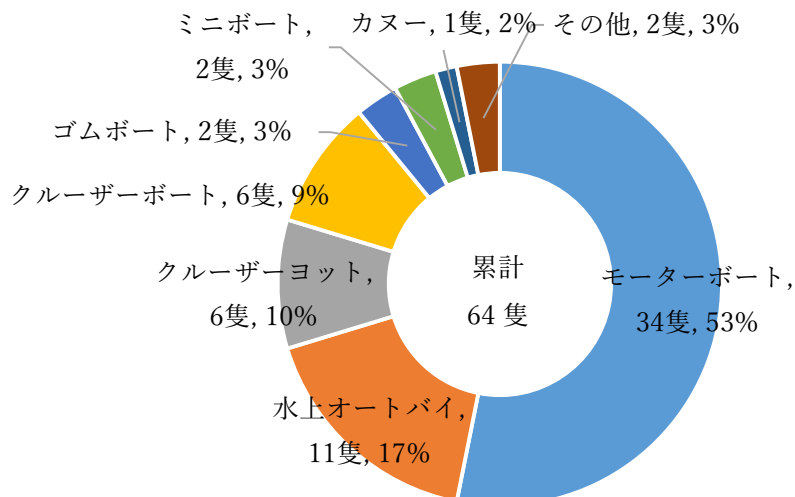
〔PB 事故原因別の割合（５年間累計）〕



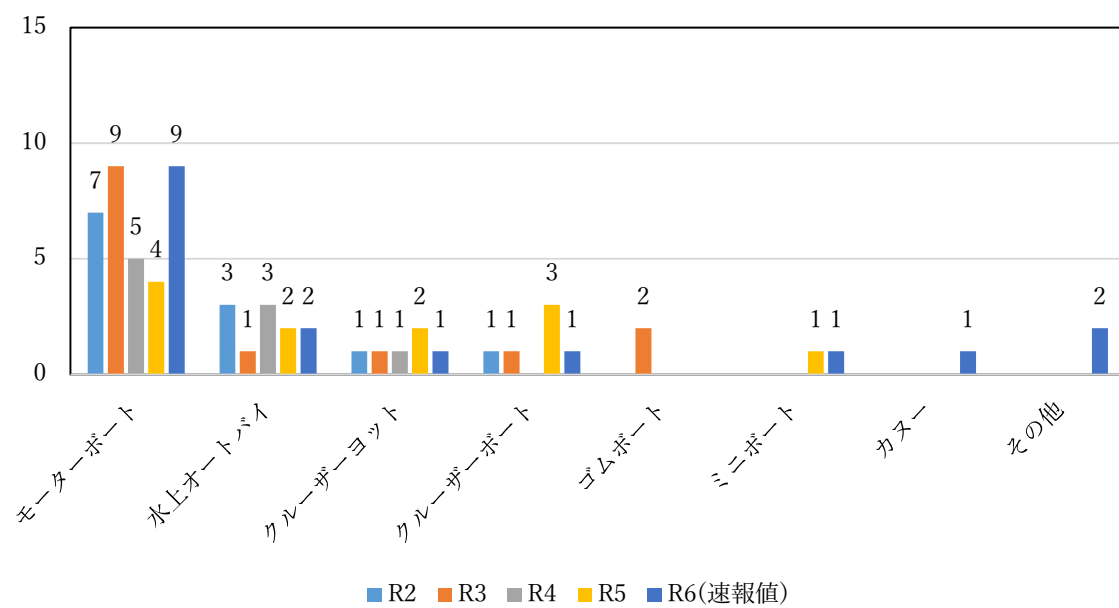
〔PB 事故の発生時期と事故の種類（５年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
運航不能	3隻	1隻	1隻	2隻	2隻	1隻	2隻	6隻	3隻	4隻	2隻	1隻	28隻
推進器・舵障害				1隻				1隻				1隻	3隻
機関故障	2隻			1隻									3隻
無人漂流	1隻									1隻			2隻
その他		1隻	1隻		2隻	1隻	2隻	5隻	3隻	3隻	2隻		20隻
乗揚	1隻	1隻	4隻	3隻		2隻			2隻	2隻	2隻	1隻	18隻
衝突				2隻		2隻	2隻						6隻
転覆				1隻			1隻			2隻	1隻		5隻
浸水	1隻					1隻	1隻			1隻			4隻
単独衝突						1隻		1隻					2隻
火災								1隻					1隻
計（月）	5隻	2隻	5隻	8隻	2隻	7隻	6隻	8隻	5隻	9隻	5隻	2隻	64隻
計（季節）	9隻		15隻			21隻			19隻				64隻

〔PB 種類別の割合（５年間累計）〕



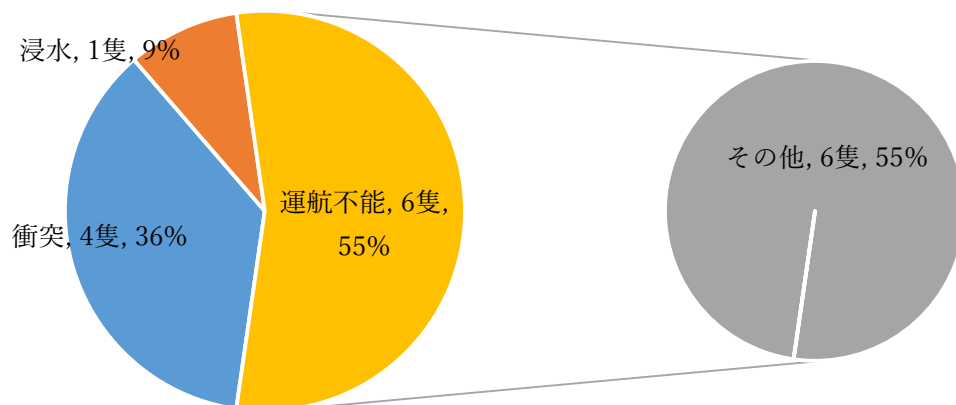
〔PB 種類別の事故発生状況の推移と割合（5 年間累計）〕



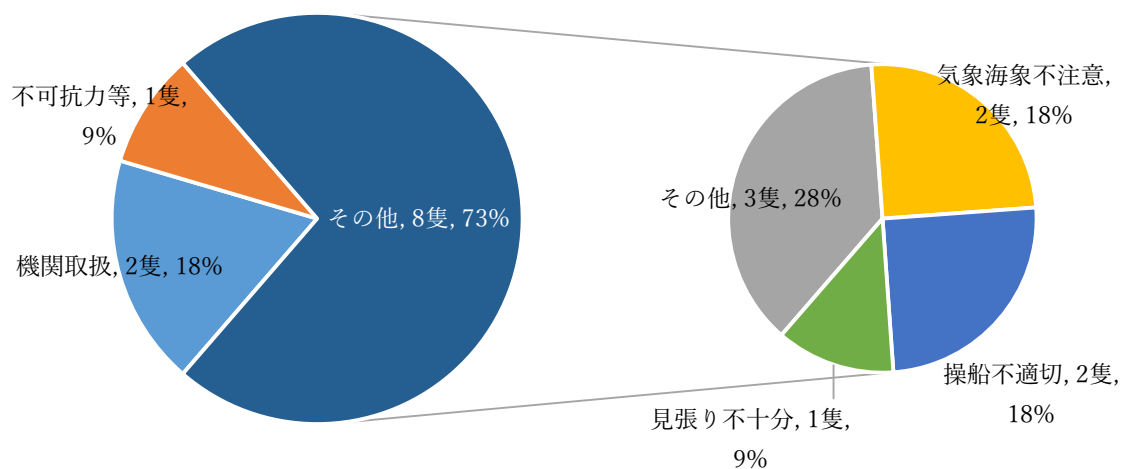
① 水上オートバイ

- ✓ 発生時期は夏季（6月から8月）、特に7月に多発する傾向にある。
（5年間累計）

〔PWC 事故種類別の割合（5年間累計）〕



〔PWC 事故原因別の割合（5年間累計）〕



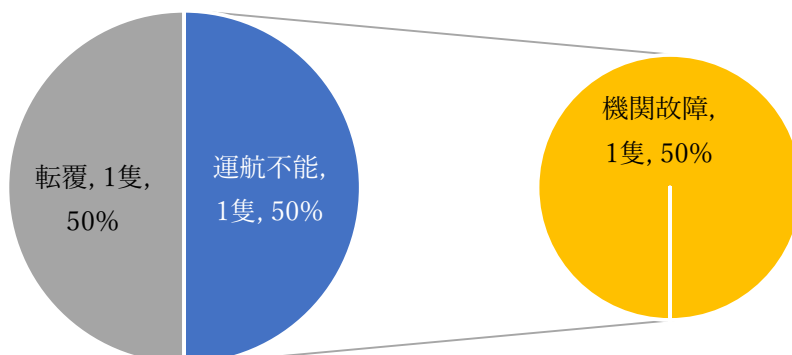
〔PWC 事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
航行不能	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	1隻	2隻	2隻	0隻	0隻	0隻	6隻
〔その他〕					1隻		1隻	2隻	2隻				6隻〕
衝突						2隻	2隻						4隻
浸水							1隻						1隻
計（月）	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	2隻	4隻	2隻	2隻	0隻	0隻	0隻	11隻
計（季節）	0隻		1隻			8隻			2隻				11隻

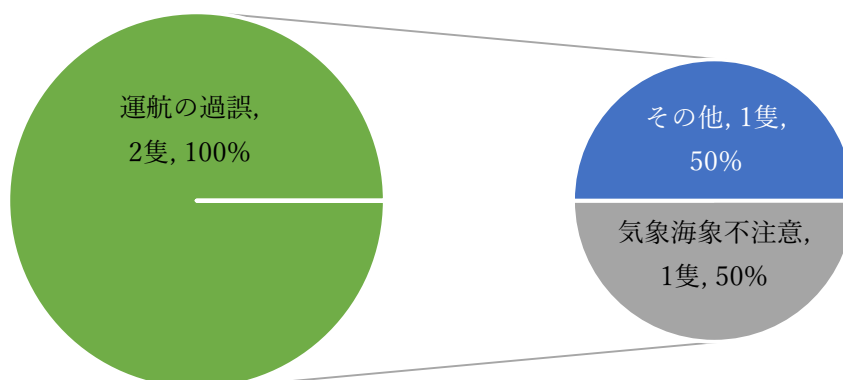
② ミニボート

- ✓ 令和6年は運航不能（機関故障）による事故1件のみの発生であった。

〔事故種類別の割合（5年間累計）〕



〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



〔事故種類別の発生状況の推移と割合（5年間累計）〕

	R2	R3	R4	R5	R6(速報値)	計
転覆				1隻		1隻
運航不能（機関故障）					1隻	1隻
計	0隻	0隻	0隻	1隻	1隻	2隻

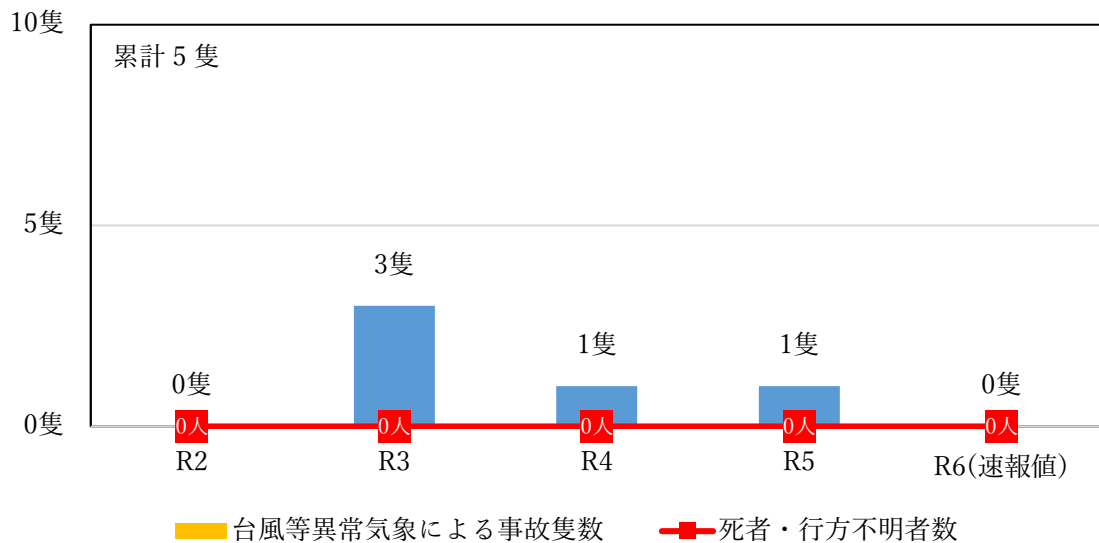
〔ミニボート事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
運航不能	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻
（機関故障）				1隻									1隻
転覆							1隻						1隻
計（月）	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	0隻	1隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	2隻
計（季節）	0隻		1隻			1隻			0隻				2隻

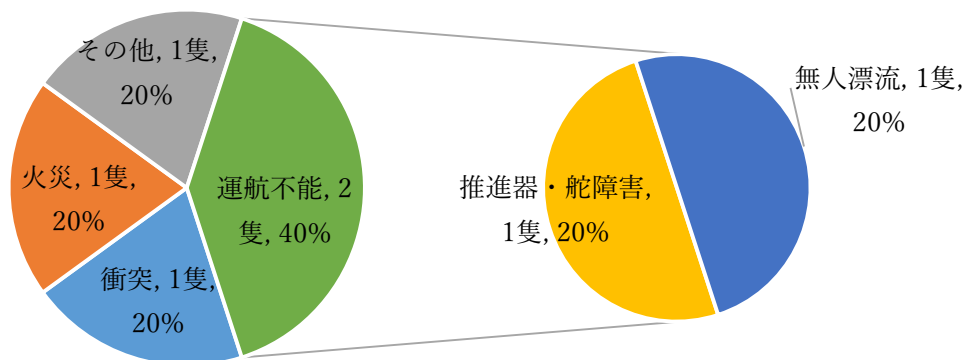
（４）工事関係船（作業船・その他）

- ✓ 令和 6 年は事故の発生はなかった。
- ✓ 事故種類別にみると、運航不能によるものが最も多く、全体の 40%（2 隻／5 隻）を占め、次いで衝突、火災及びその他がそれぞれ約 20%（1 隻）と続く。（5 年間累計）
- ✓ 発生時期は、秋季（9 月～11 月）に多く発生している。（5 年間累計）

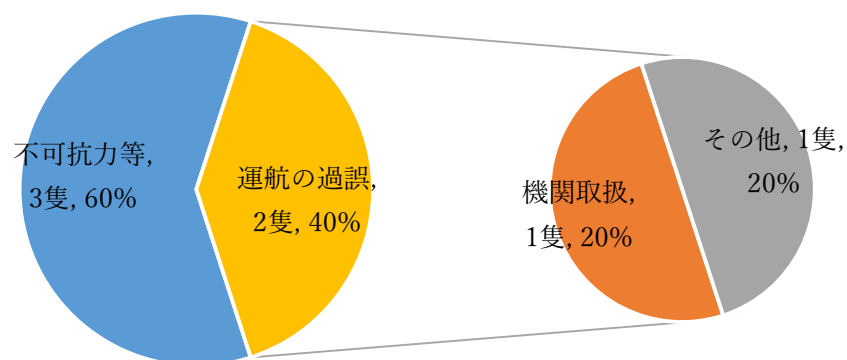
〔工事関係船事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5 年間）〕



〔工事関係船の事故種類別割合（5 年間累計）〕



〔工事関係船の事故原因別割合（5年間累計）〕



〔工事関係船事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

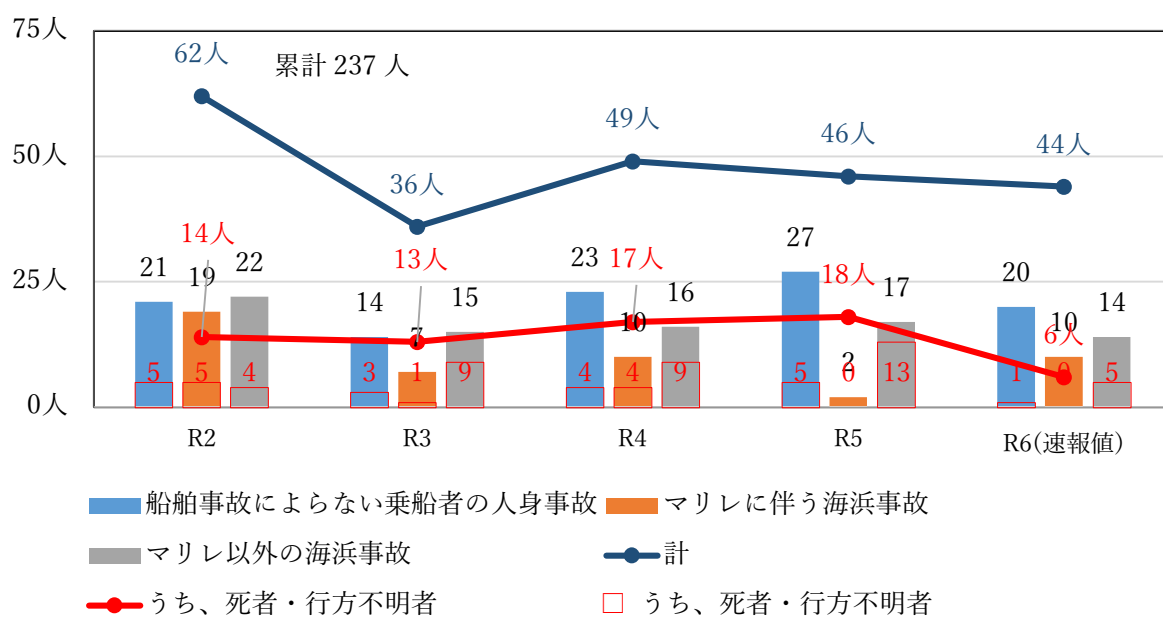
	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
運航不能	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	1隻	0隻	0隻	2隻
〔 無人漂流									1隻				1隻
推進器・舵障害										1隻			1隻
衝突				1隻									1隻
火災									1隻				1隻
その他									1隻				1隻
計（月）	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	0隻	0隻	0隻	3隻	1隻	0隻	0隻	5隻
計（季節）	0隻		1隻			0隻			4隻			0隻	5隻

2 人身事故の特徴

(1) 人身事故（全体）

- ✓ 令和6年は前年比2人減の44人とほぼ横ばいとなった。
- ✓ 死者・行方不明者は前年から大きく減少し、12人減の6人となり、近年において最少となった。
- ✓ 船舶事故によらない乗船者の人身事故が前年比7人減の20人と減少した。
- ✓ マリンレジャーに伴う海浜事故は、前年比8人増の10人と増加した

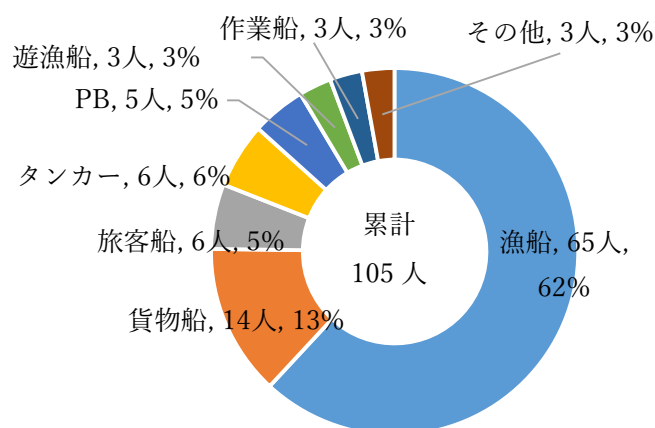
〔人身事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



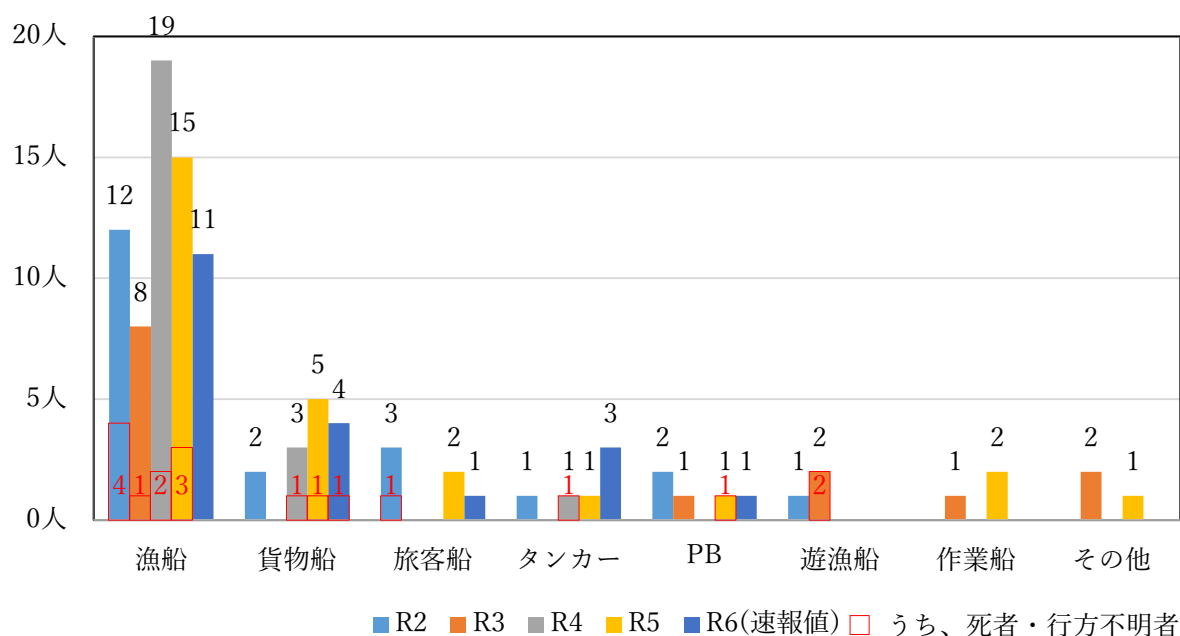
(2) 船舶事故によらない乗船者の人身事故

- ✓ 漁船乗船者の人身事故が前年比 4 人減の 11 人と減少した。
- ✓ 乗船船種別にみると、漁船乗船者の事故が突出して多く、全体の 62% (65 人/105 人) を占め、次いで貨物船が 13% (14 人) と続く。(5 年間累計)

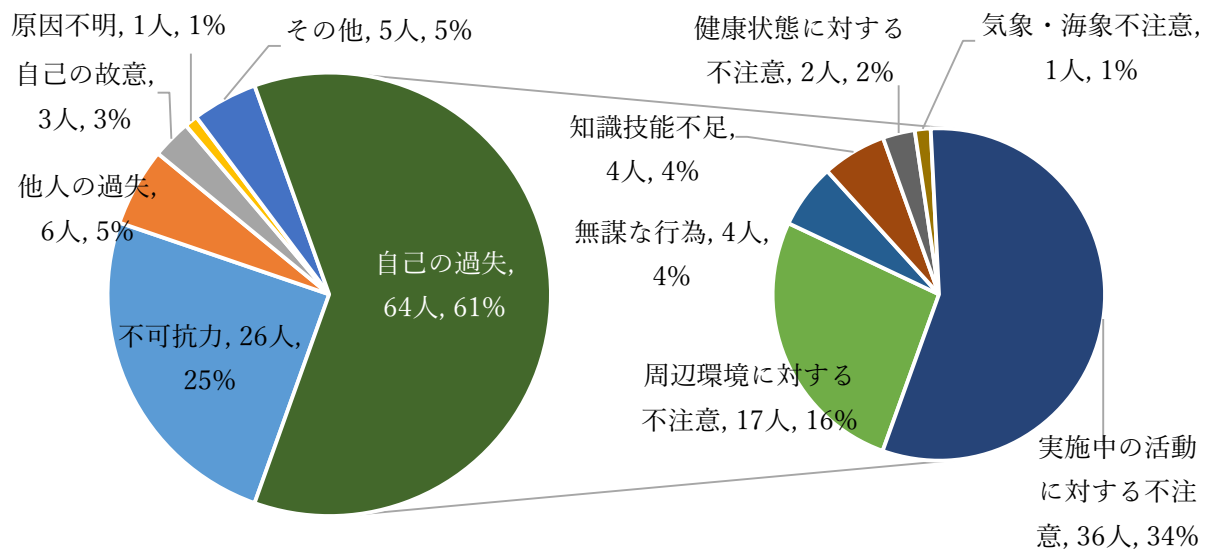
〔乗船船種別の割合 (5 年間累計)〕



〔乗船船種別と死者・行方不明者の推移 (5 年間)〕



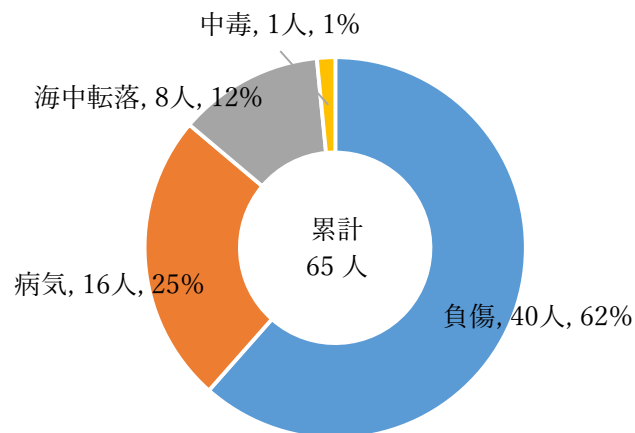
〔事故原因別の割合（５年間累計）〕



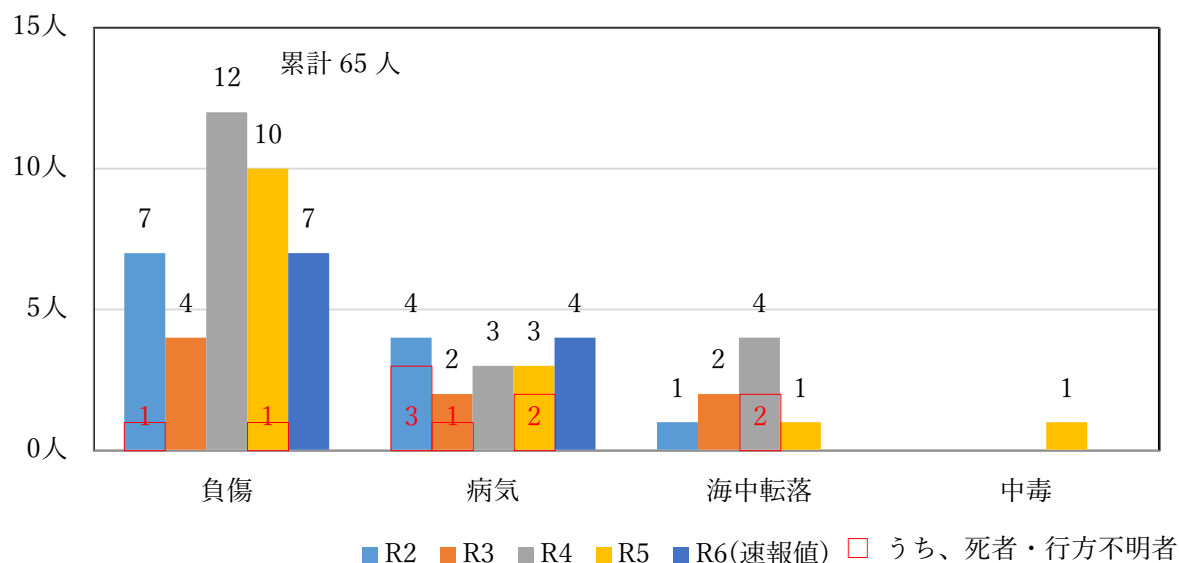
① 漁 船

- ✓ 事故種類別にみると、負傷によるものが最も多く、全体の 62%（40 人／65 人）を占め、次いで病気によるものが 25%（16 人）と続く。（5 年間累計）
- ✓ 令和 6 年は負傷による人身事故が前年比 3 人減の 7 人と減少した。
- ✓ 漁船乗船者の事故原因は、全体の 74%（48 人）が自己の過失によるものであり、そのうち 46%（30 人）が実施中の活動に対する不注意によるものであった。（5 年間累計）
- ✓ 負傷事故を種類別に見ると、巻き込まれによるものが最も多く、全体の 35%（14 人/40 人）を占め、次いでロープの破断等による物との接触・衝突による事故が 20%と続く。（5 年間累計）
- ✓ 発生時期は、年間を通じて発生しているが、秋季（9 月～11 月）に、特に 11 月に多発している。（5 年間累計）

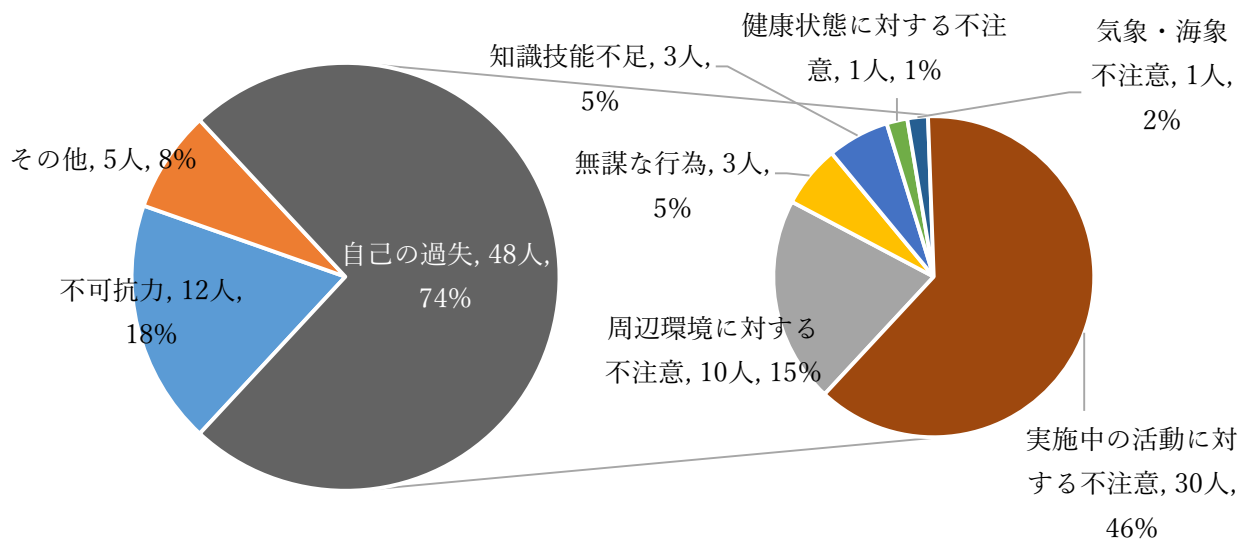
〔漁船乗船者の人身事故の種類別の割合（5 年間累計）〕



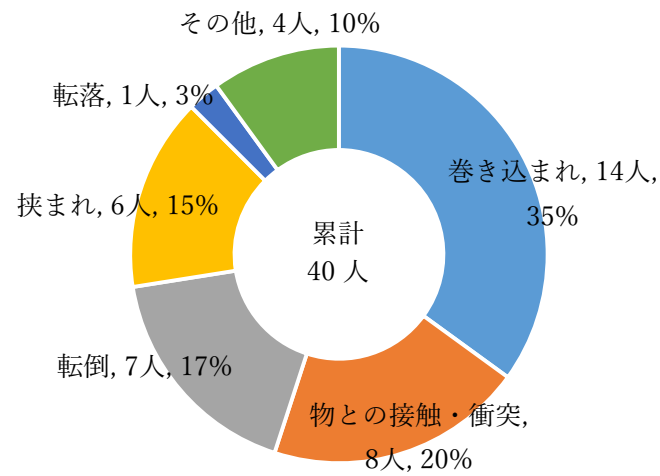
〔漁船乗船者の人身事故の種類と死者・行方不明者の推移（５年間）〕



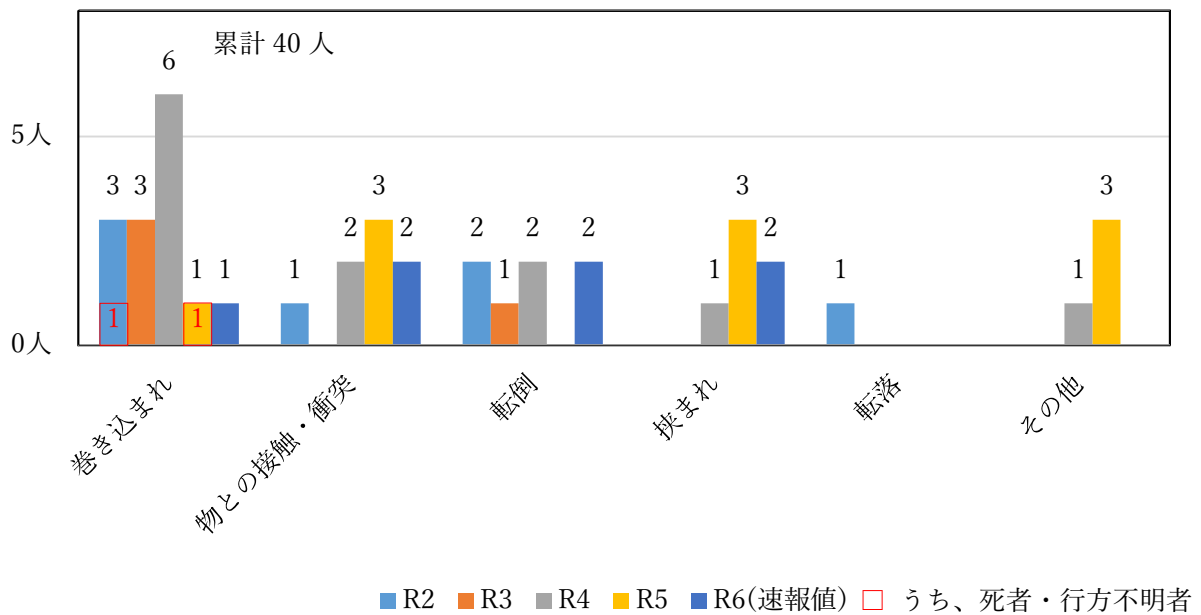
〔漁船乗船者の人身事故の原因別割合（５年間累計）〕



〔漁船乗船者の負傷事故の種類別割合（5年間累計）〕



〔負傷事故の種類と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



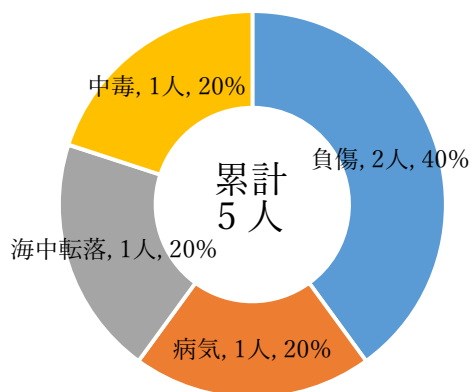
〔漁船による人身事故の発生時期と事故の種類（５年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
負傷	3人	5人	2人	3人	4人	4人	1人	2人	4人	3人	4人	5人	40人
うち、死者・行方不明者	1人	1人											2人
病気	1人		1人	4人	1人		1人		1人	1人	5人	1人	16人
うち、死者・行方不明者	1人				1人		1人				2人	1人	6人
海中転落	1人	1人		1人			2人		2人		1人		8人
うち、死者・行方不明者									2人				2人
中毒											1人		1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	5人	6人	3人	8人	5人	4人	4人	2人	7人	4人	11人	6人	65人
うち、死者・行方不明者	2人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	2人	0人	2人	1人	10人
計（季節）	17人		16人			10人			22人				65人
うち、死者・行方不明者	4人		1人			1人			4人				10人

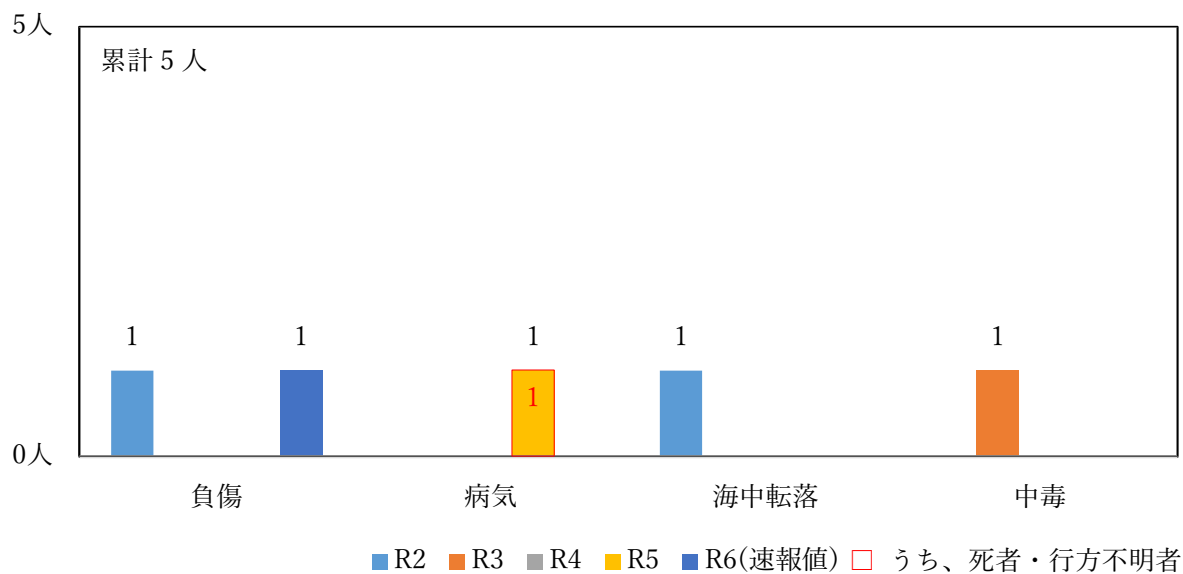
② プレジャーボート

- ✓ 事故種類別にみると、負傷 2 人のほか、病気、海中転落、中毒が 1 人ずつである。（5 年間累計）
- ✓ 発生時期は、夏季から秋季に多く発生する傾向にある。（5 年間累計）

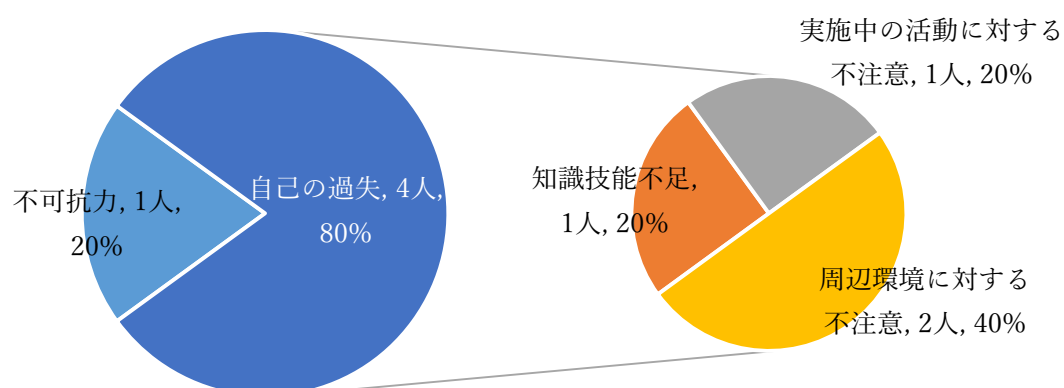
〔PB 乗船者の人身事故の種類別割合（5 年間累計）〕



〔PB 乗船者の人身事故の種類と死者・行方不明者の推移（5 年間）〕



〔PB 乗船者の人身事故の原因別割合（5 年間累計）〕



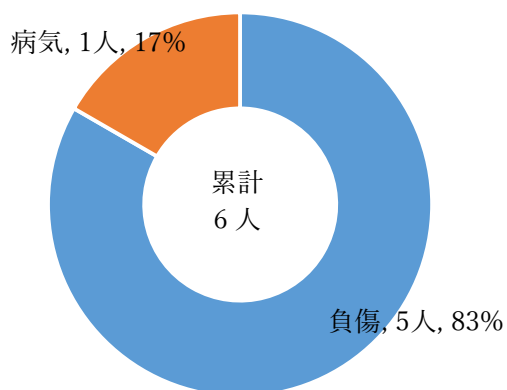
〔プレジャーボートによる人身事故の発生時期と事故の種類（5 年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
負傷						1人	1人						2人
うち、死者・行方不明者													0人
病気										1人			1人
うち、死者・行方不明者										1人			1人
海中転落											1人		1人
うち、死者・行方不明者													0人
中毒							1人						1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	1人	2人	0人	0人	1人	1人	0人	5人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人
計（季節）	0人		0人			3人			2人				5人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			0人			1人				1人

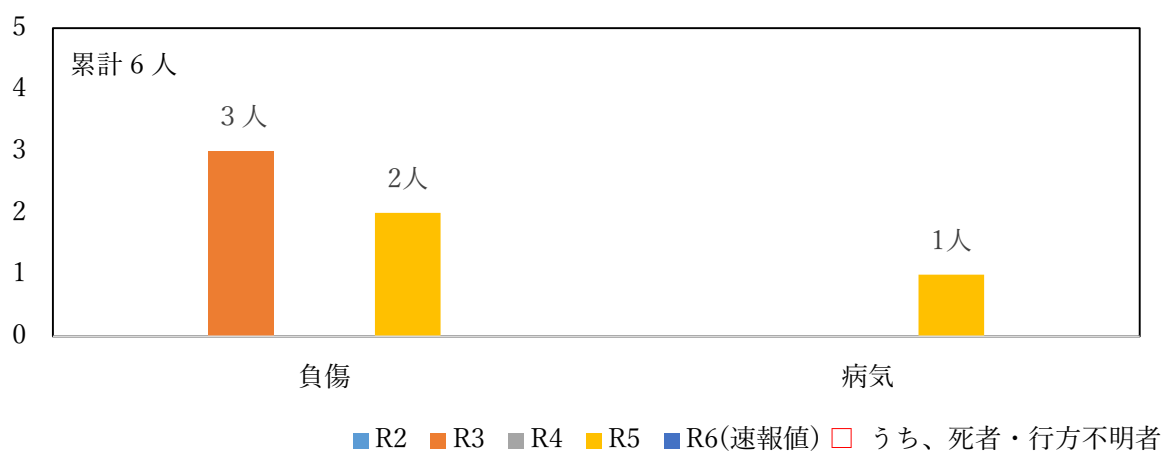
③ 工事関係船（作業船・その他）

- ✓ 事故種類別に見ると、負傷が全体の 83%（5 人/6 人）であり、病気が 17%（1 人）であった。（5 年間累計）
- ✓ 発生時期は年間を通し、断続的に発生している。（5 年間累計）

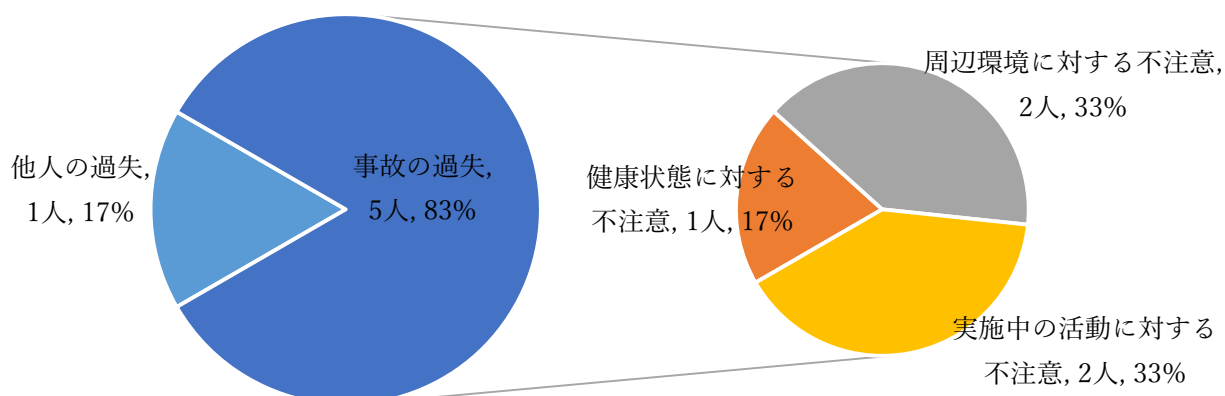
〔工事関係船による人身事故の種類別割合（5 年間累計）〕



〔工事関係船乗船者の人身事故の種類と死者・行方不明者の推移（5 年間累計）〕



〔工事関係船乗船者の人身事故の原因別割合（５年間累計）〕



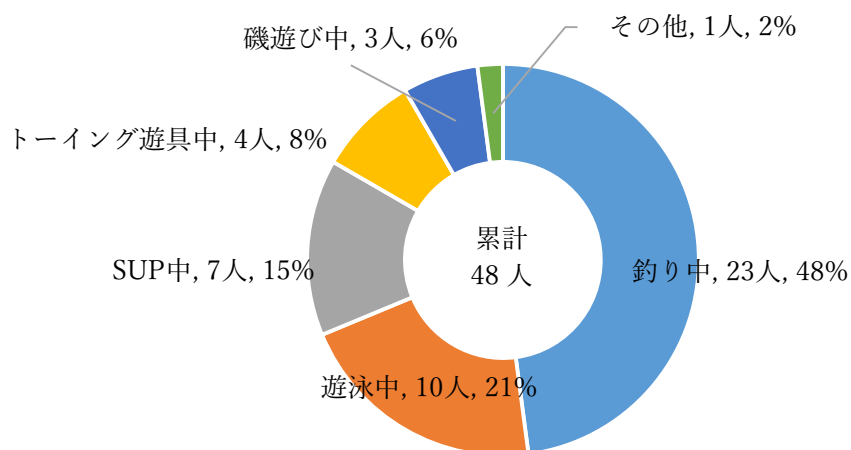
〔工事関係船による人身事故の発生時期と事故種類（５年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
負傷	1人			2人	1人					1人			5人
うち、死者・行方不明者													0人
病気								1人					1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	1人	0人	0人	2人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	6人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計（季節）	1人		3人			1人			1人				6人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			0人			0人				0人

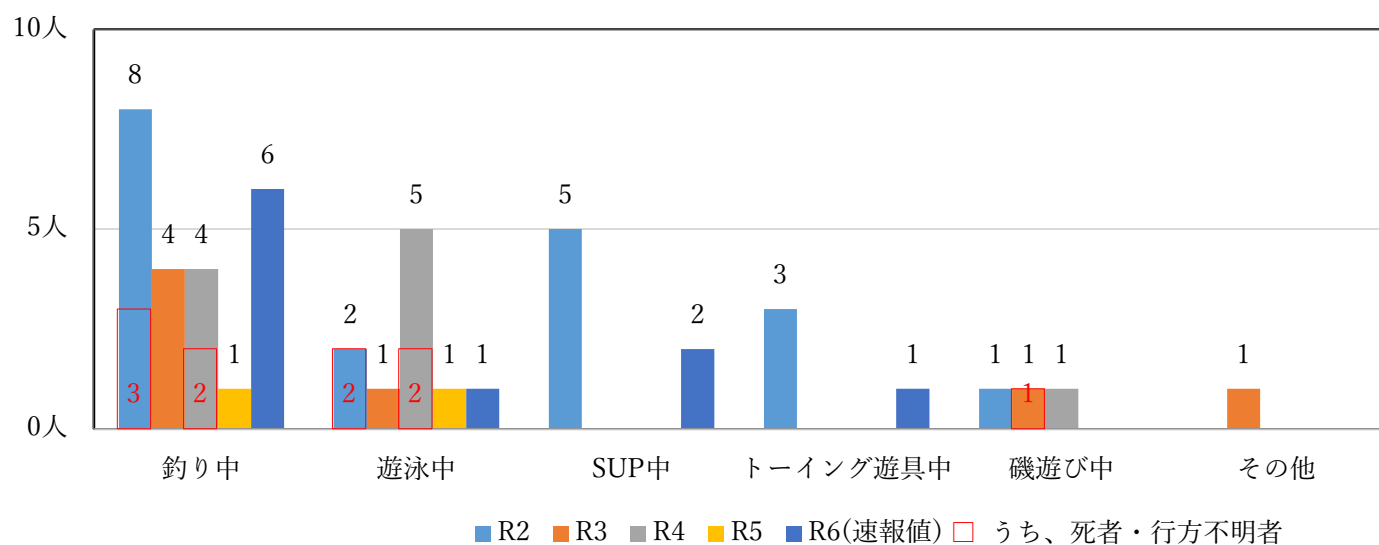
(3) マリンレジャーに伴う海浜事故

- ✓ 釣り中の事故が前年比 5 人増の 6 人、遊泳中の事故は前年と同数の 1 人であった。
- ✓ 活動内容別に見ると、釣り中の事故が最も多く、全体の 48% (23 人／48 人) を占め、次いで遊泳中の事故が 21% (10 人) と続く。(5 年間累計)

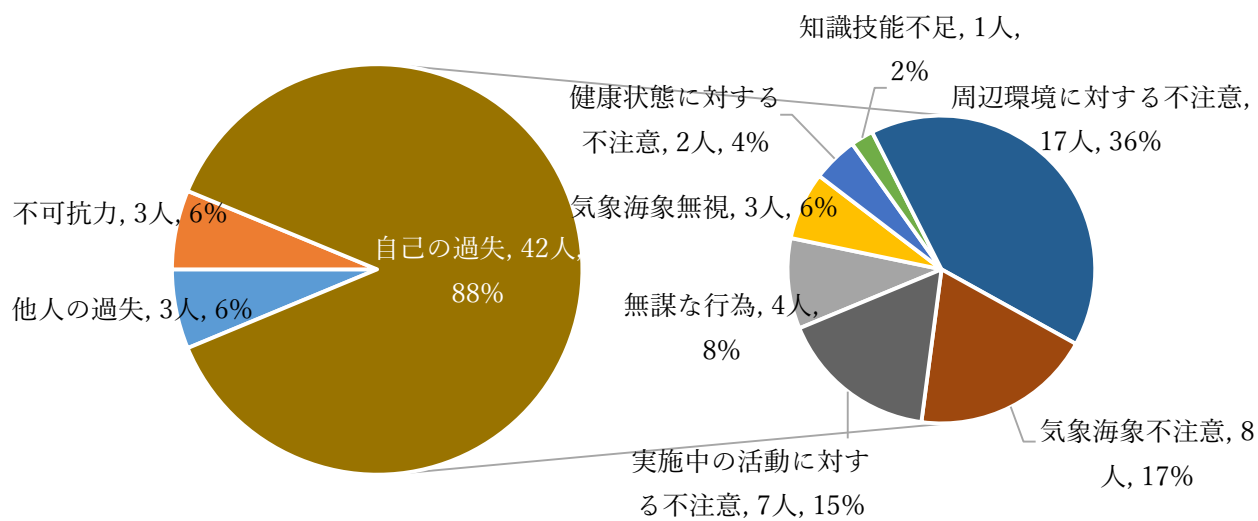
〔活動内容別の割合 (5 年間累計)〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移 (5 年間)〕



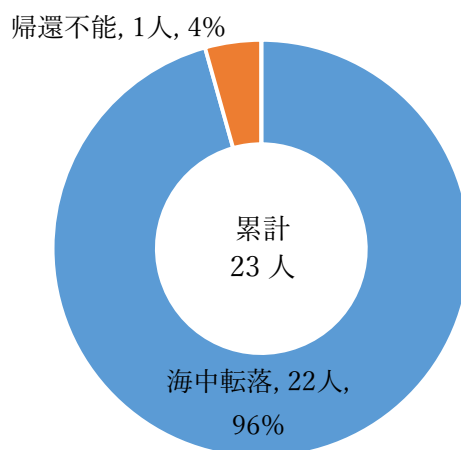
〔事故原因別の割合（５年間累計）〕



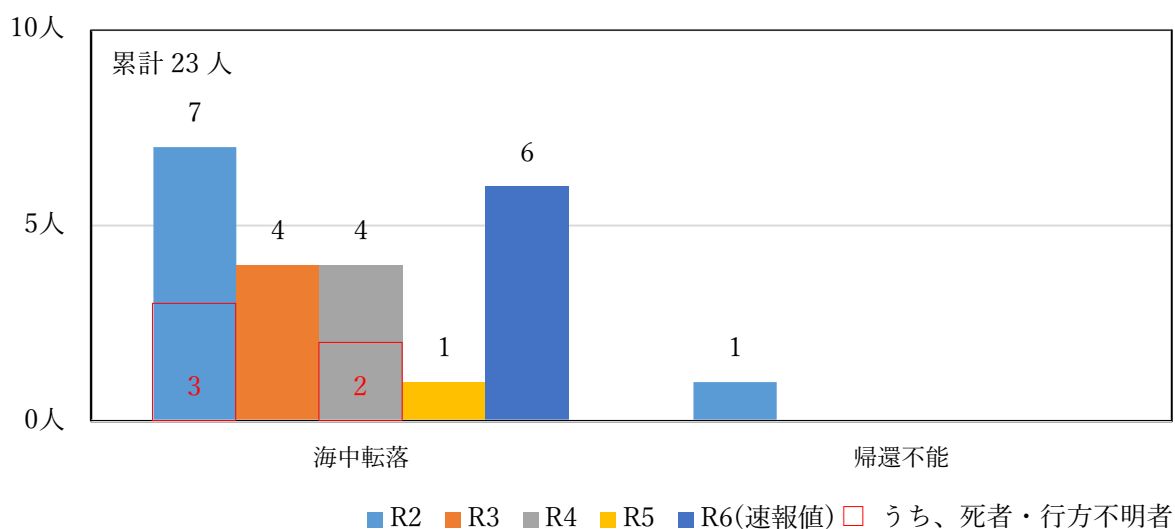
① 釣り中

- ✓ 事故種類別にみると、海中転落によるものが突出して多く全体の96%（22人／23人）を占める。（5年間累計）
- ✓ 事故原因別にみると、周辺環境に対する不注意が最も多く全体の44%（10人／23人）を占め、次いで実施中の活動に対する不注意が26%（6人）を占める。（5年間累計）
- ✓ 年間を通じて発生しているが、秋季（9月～11月）に、特に11月に多く発生する傾向がある。（5年間累計）
- ✓ 死者・行方不明者を伴う事故は、その全てが海中転落による。（5年間累計）

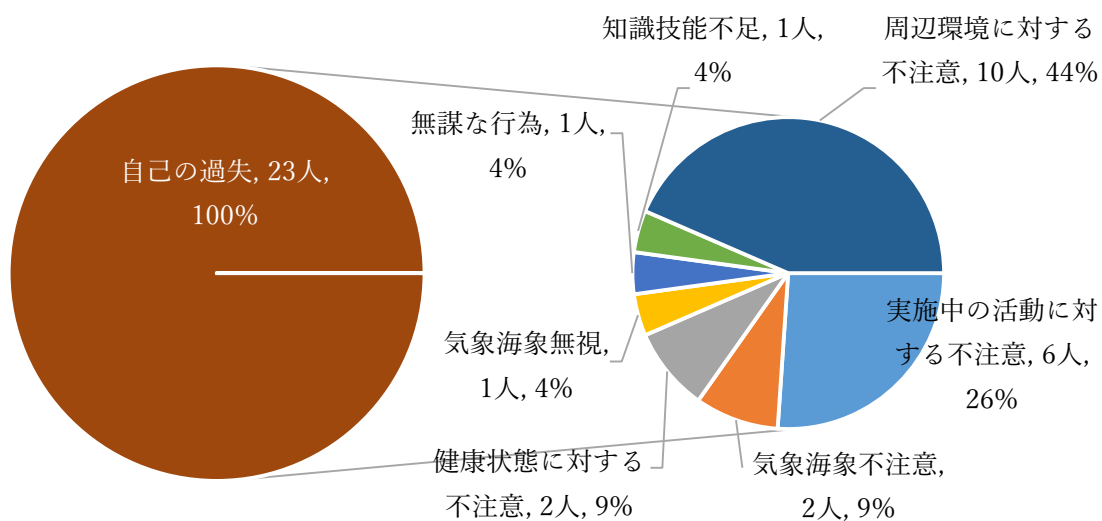
〔事故種類別の割合（5年間累計）〕



〔事故種類別と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



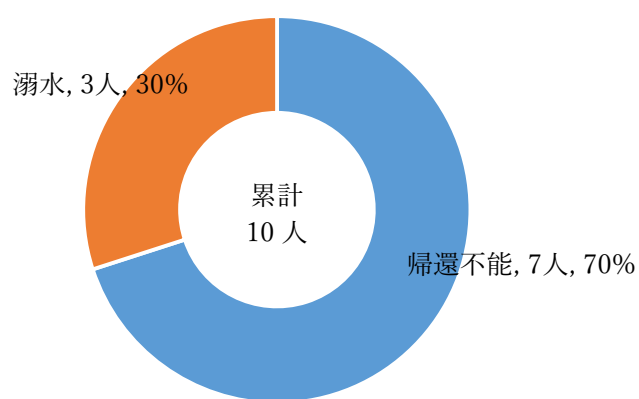
〔釣り中の人身事故の発生時期と事故種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
海中転落	1人	2人	3人		1人	1人	1人	1人	3人	2人	4人	3人	22人
うち、死者・行方不明者		1人						1人	1人	1人		1人	5人
帰還不能											1人		1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	1人	2人	3人	0人	1人	1人	1人	1人	3人	2人	5人	3人	23人
うち、死者・行方不明者	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	0人	1人	5人
計（季節）	6人		4人			3人			10人				23人
うち、死者・行方不明者	2人		0人			1人			2人				5人

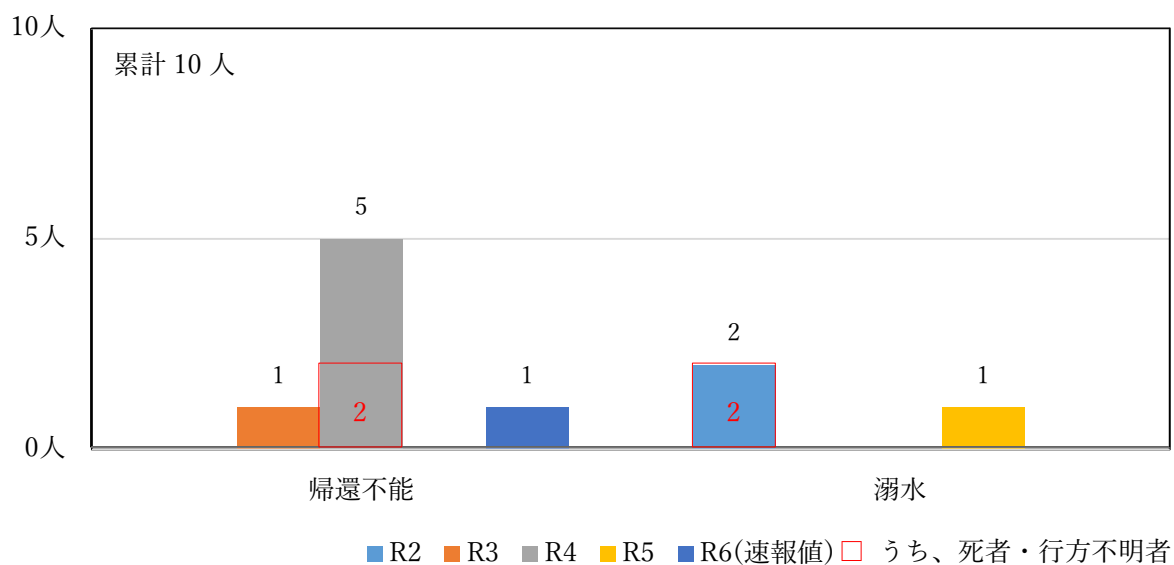
② 遊泳中

- ✓ 事故種類別にみると、帰還不能が最も多く全体の 70%（7 人／10 人）を占め、次いで溺水が 30%（3 人）と続く。（5 年間累計）
- ✓ 事故原因別にみると、周辺環境に対する不注意が突出して多く全体の 60%（6 人／10 人）を占める。（5 年間累計）
- ✓ 遊泳中の事故は、全て海水浴場（遊泳可）以外の場所で発生している。（5 年間累計）

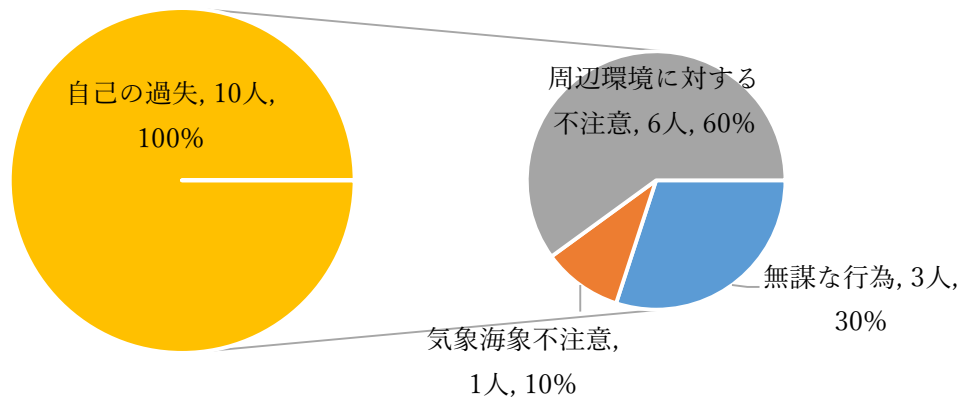
〔事故種類別の割合（5 年間累計）〕



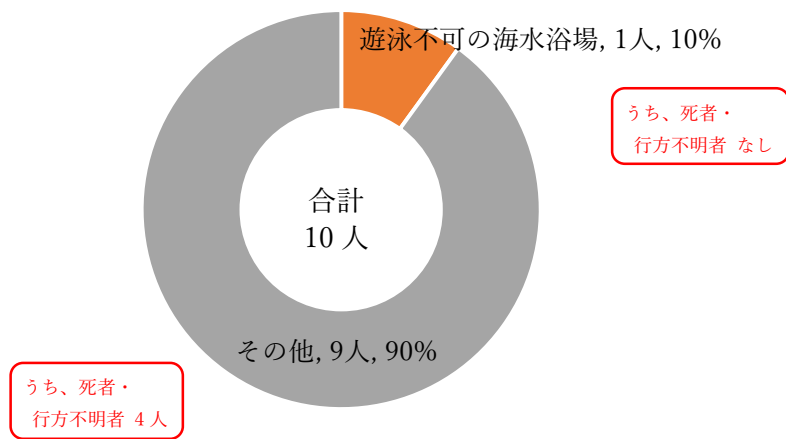
〔事故種類別と死者・行方不明者の推移（5 年間累計）〕



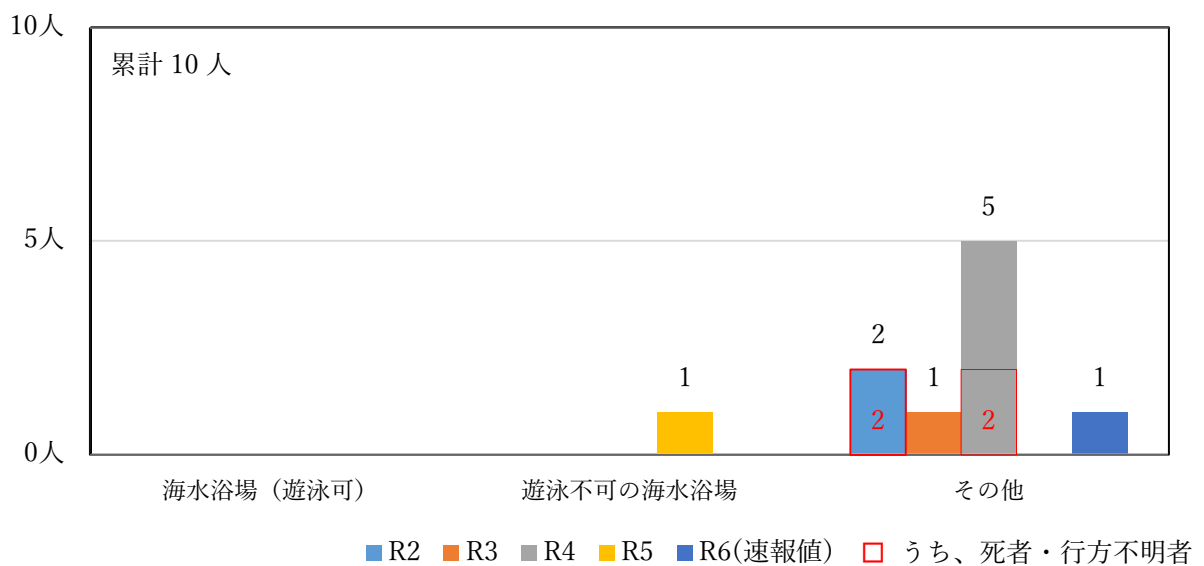
〔事故原因別の割合（５年間累計）〕



〔発生場所別の割合（５年間累計）〕



〔発生場所別と死者・行方不明者の推移（５年間累計）〕



〔発生場所別の推移（５年間累計）〕

	R2	R3	R4	R5	R6(速報値)	計
海水浴場（遊泳可）						0人
うち、死者・行方不明者						0人
遊泳不可の海水浴場				1人		1人
うち、死者・行方不明者						0人
その他	2人	1人	5人		1人	9人
うち、死者・行方不明者	2人	0人	2人		0人	4人
計	2人	1人	5人	1人	1人	10人
うち、死者・行方不明者	2人	0人	2人	0人	0人	4人

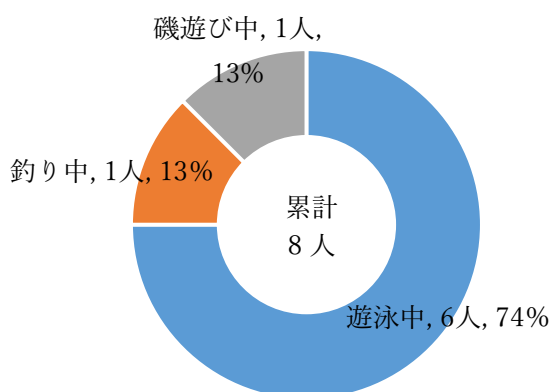
〔遊泳中の人身事故の発生時期と事故の種類（５年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
帰還不能							5人	1人	1人				7人
うち、死者・行方不明者							1人		1人				2人
溺水						3人							3人
うち、死者・行方不明者						2人							2人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	3人	5人	1人	1人	0人	0人	0人	10人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	2人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	4人
計（季節）	0人		0人			9人			1人				10人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			3人			1人				4人

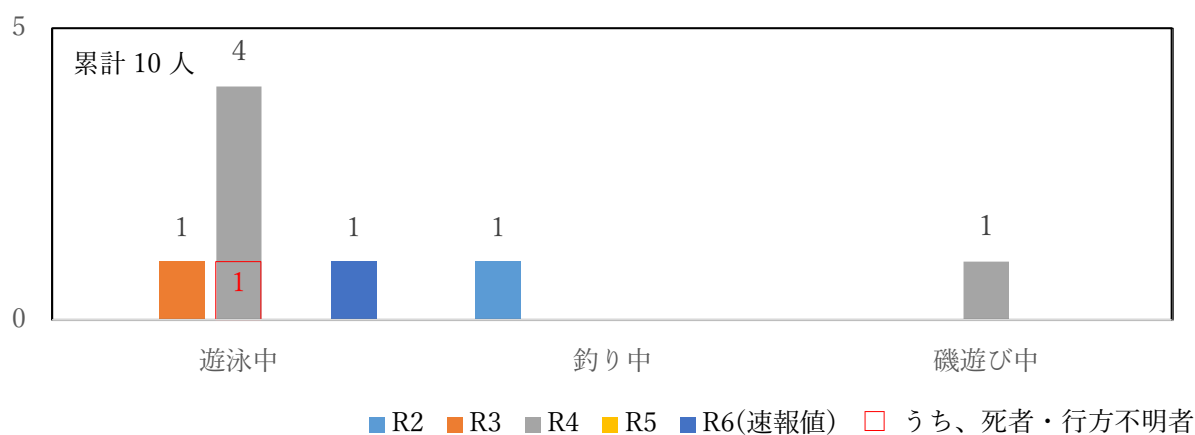
③ 18歳以下のマリレに伴う海浜事故の状況

- ✓ 18歳以下のマリネレジャーに伴う海浜事故については、遊泳中の発生が最も多く、全体の75%（6人/8人）を占め、次いで釣り中及び磯遊び中の発生がそれぞれ全体の12%（1人/8人）と続く。（5年間累計）

〔マリネレジャー別の発生割合（5年間累計）〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



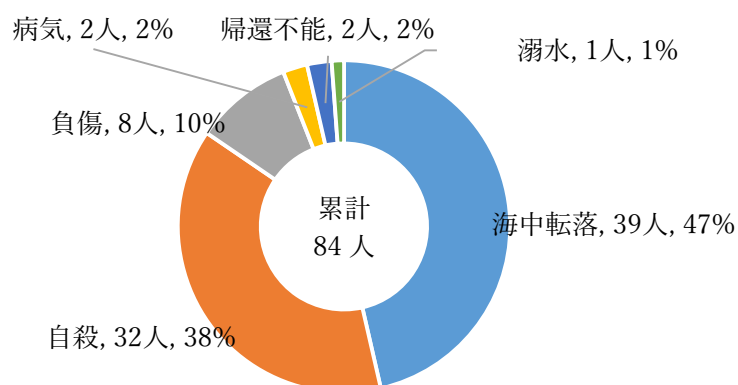
〔18歳以下のマリレに伴う事故の発生時期と種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
帰還不能							6人	1人					7人
うち、死者・行方不明者							1人						1人
海中転落									1人				1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	6人	1人	1人	0人	0人	0人	8人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
計（季節）	0人		0人			7人			1人				8人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			1人			0人				1人

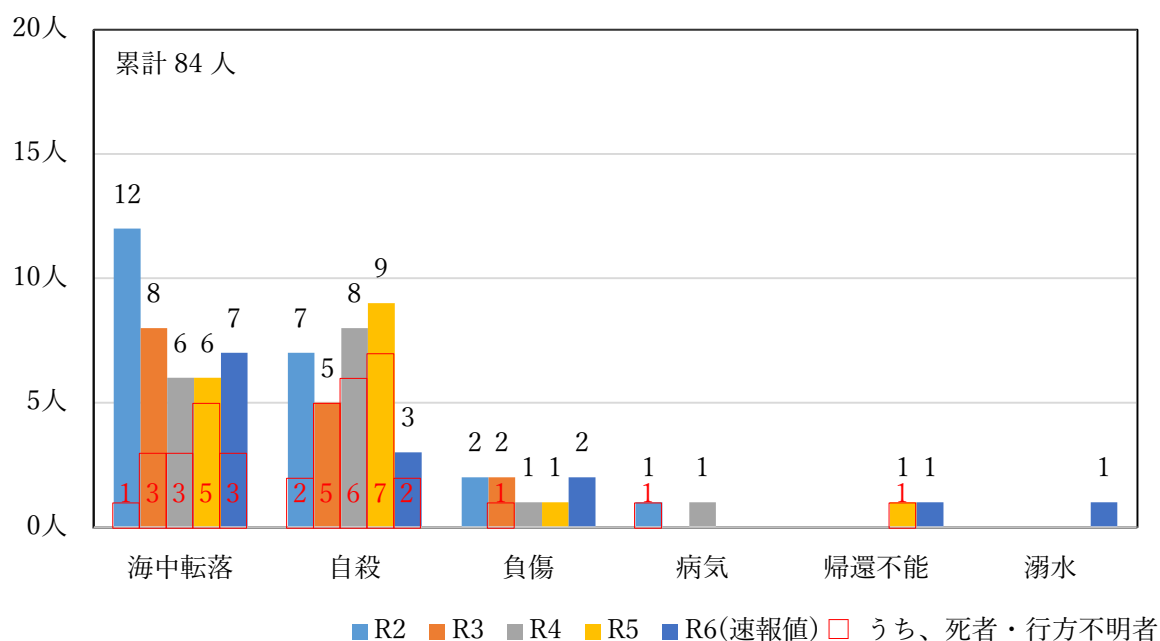
(4) マリレ以外の海浜事故

- ✓ 事故種別別にみると、海中転落が最も多く、全体の 47% (39 人／84 人) を占め、次いで自殺が 38% (32 人) と続く。(5 年間累計)

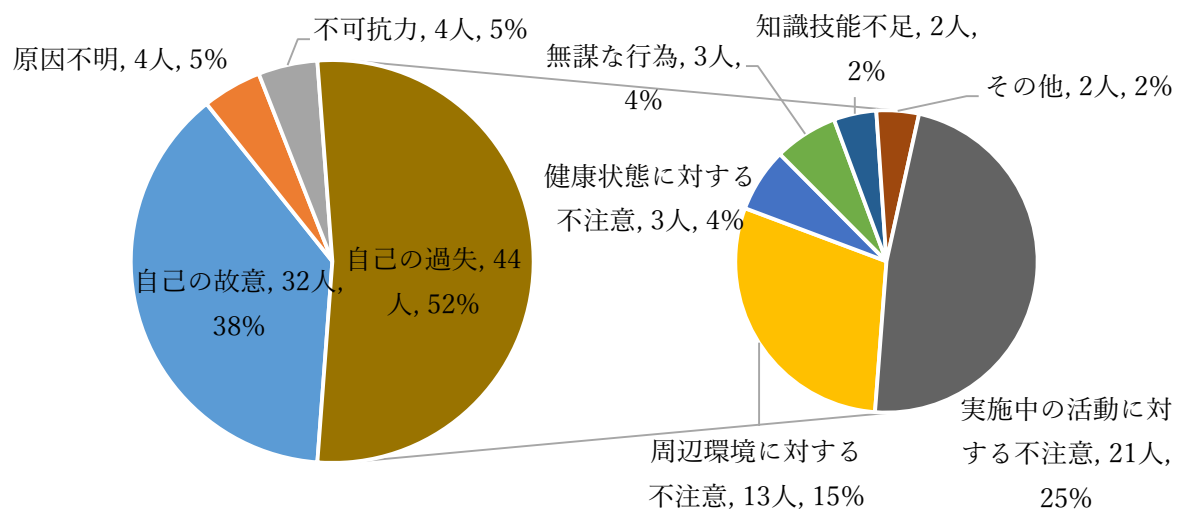
〔事故種別別の割合 (5 年間累計)〕



〔事故種別別と死者・行方不明者の推移 (5 年間)〕

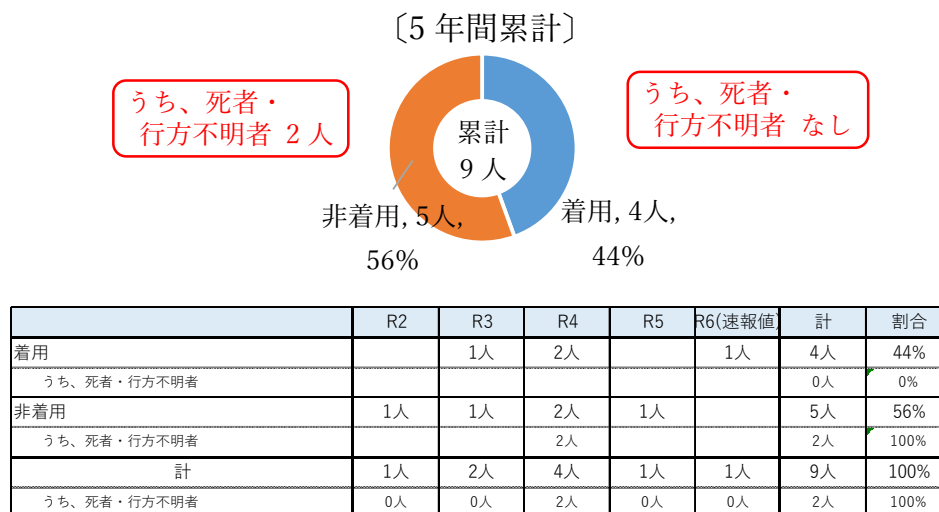


〔事故原因別の割合（５年間累計）〕

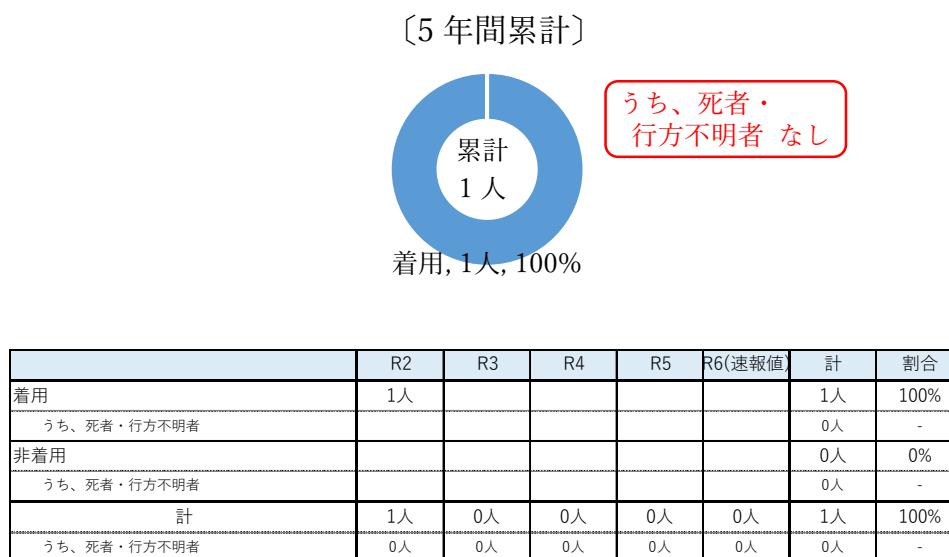


3 事故発生時における救命胴衣の着用率

(1) 漁船からの海中転落者の救命胴衣着用率



(2) プレジャーボートからの海中転落者の救命胴衣着用率



(3) 釣り中の海中転落者の救命胴衣着用率

